



2024年度
第30号

体育市民連帯 ニュースレター

24日
パリ五輪が
特別な理由



最善を
尽くしたのなら
勝てなくても
拍手を！



寄宿型
サッカークラブハウス
教育庁と自治体の
立場の違い、被害は学生が



あなたは
憶えていますか？



みんなの運動会
運動で
運動する
理由



大韓民国スポーツの
根本的变化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



体育市民連帯 第 5 次執行委員会 2024. 07. 24(水) 午後 8 時**報告事項**

- 故崔淑賢 (チェ・スクヒョン) 選手、4 周忌の対応方向を模索
- ニュースミン X 体育市民連帯共同ユーチューブ映像制作



- 大韓テニス協会管理団体指定糾弾声明書発表
- サッカーアカデミー暴力事件の経過報告
- 緊急討論会の進行および共同声明書の発表、言論協力要請など

議論事項

- パリオリンピックシーズンアジェンダ選定および公論化方向
- コラム/YouTube/キャンペーンなどの計画
- ソン・ウンジョンサッカーアカデミー経過及び今後の対応
- モニタリング持続 / 代案提示
- オンラインコンテンツプラットフォームの構築
- 映像制作スタジオの構築
- 新規執行委員の推薦
- 議論の上決定

01 韓国日報 2024. 07. 25**24 日、パリ五輪が特別な理由**

26 日に開幕する第 33 回パリオリンピックはスポーツ界の歴史的な瞬間として記録されるでしょう。史上初めて女性と男性選手が同数で参加するからです。続く 2024 年パリパラリンピックでも女性選手の割合が過去最大の 44.4% に達する見通しです。

女性が人口の半分を占めることを考えると、オリンピックでの女性と男性選手の同数参加は当然のことと考えられます。しかし歴史的に見て、パリオリンピックで性比を 50 対 50 に合わせた決定は意味深いものです。女性選手がオリンピックに初めて参加し始めたのは 1900 年で、今年と同じくパリで開かれたオリンピックでした。ただ、当時の女性選手の割合は全体の 2.2%に過ぎませんでした。これはスポーツ競技場で女性と男性が同等の代表性を備えるまでに 125 年という長い年月がかかったことを意味します。

オリンピックで性別のバランスを達成するまでに長い年月がかかったという点はスポーツ界だけの問題ではありませんでした。全世界的に女性と女兒が十分な権限を享受できなかった現実を反映します。社会に存在する数多くの構造的障壁と難関により、女性と女兒がスポーツ競技に参加する機会が不足したためです。これは、女性と女兒がオリンピックの舞台で夢を広げる機会を制限しました。したがって 2024 年パリオリンピックで性別のバランスが達成されたという点は強力な象徴的意味を持ちます。女性と女兒が経験した障害を解決しているという人類の進歩を示唆しています。

しかし、オリンピックでの性別のバランスだけで満足するには早いです。依然として残った課題を見なければなりません。パリオリンピックがスポーツ界の男女平等を進展させるきっかけになることを願っています。女性と女兒のスポーツ参加率は依然として男性と男児に比べて劣ります。スポーツ界では女性は男性よりも少ない給料で、アスリートだけでなくコーチやトレーナーにも当てはまります。スポーツ協会や意思決定機関での女性の代表性は著しく低いです。スポーツ清廉性グローバル連合(Sport Integrity Global Alliance)の 2023 年の調査によると、全世界 31 の国際スポーツ連盟の役員職のうち、女性の割合は 26.9%に過ぎません。206 の国家オリンピック委員会のうち、女性会長がいるのはわずか 24 カ所です。私たちは今回のパリオリンピックで達成した性別均衡を全世界のすべての運動場に拡張させなければなりません。

「すべての人間は平等に生まれ、私たちはお互いにつながっている。」これはオリンピックの根本的存在目的です。歴史的瞬間を迎え、韓国の基準を確立するきっかけになればと思います。すべての女性と女兒が自分の人権を行使し、潜在力を最大限発揮できる環境を整える社会を目指さなければなりません。

出典：<https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2024072413030001969?did=NA>

02 KBS 2024. 07. 28

最善を尽くしたのなら、勝てなくても拍手を！



40 年前のオリンピック授賞式のシーンです。

金、銀、銅メダルの順に行われる授賞式。

男子柔道のキム・ジェヨプ選手は銀メダルを取っても落ち込んでいる表情です。

同じように銀メダルを取った後に、授賞式を楽しむ最近の選手たちとは比較になります。

<インタビュー>ヨ・ホン Chol/1996 アトランタ五輪体操銀メダル

どうしてメダルが取れなかったのか、金メダルが取れなかったのかとかいうふうだったんですよ、でも今は銅メダルだけ取っても拍手してくれて、こういう社会の雰囲気になってとても良かったんですよ 私は

<インタビュー>ハ・テグオン/ 2000 シドニーオリンピック バドミントン 男子ダブルス 銅メダル

準決勝が終わって試合に負けた後、宿舎に戻った時はほとんど落ち込んでいました。私の人生が終わったような、そんな感じでした。

<インタビュー> チャン・ジェグン/ 鎮川選手村長

前は本当に4位になったら、空港に出る時も避けて、いつ来たのかも分からないのに

もう、メダルが取れなかったからといって頭を下げる必要はありません。

メダルよりも重要なのは、最善を尽くしたのか、それで感動を与えたのか、国民の物差しが変わっているからです。

<インタビュー>キム・ヨンギョン/元女子バレーボール国家代表

他の種目に比べて多くの関心を受けながら試合をしたようです。運良く良い成績で行われ、より多くの関心を持つようになりました。

<インタビュー> ノ・ミンジェ/ 漢陽大学スポーツ産業学科4年生

前回の東京オリンピックの場合もメダルを取れなかったウ・サンヒョク選手がむしろもっと人々の人気を集めているし。

<インタビュー>イ・ジョンソン/漢陽大学スポーツ産業学科教授

たとえ成績が良くなくても共感できるポイントがあれば惜しみなく拍手を送る準備ができていたファンたちがはるかに多いですからね。

<インタビュー>ウ・ハラム/飛込競技韓国代表

試合が終わると、まあ、少しの後悔が残るものだし、少しの残念さが残るものだが…。

当然、目標はメダルだと思っていますが、そのメダルに執着しすぎず、最善を尽くして準備することになり、オリンピックに行っては全て捨てて後悔なく競技してみたいです。

<インタビュー>チャン・ジェグン/チンチョン選手村長

国民の心に感動のドラマを書いたくれたので、それだけ脚光を浴び、愛されたのです。1位になったらもっと脚光を浴びるでしょう。

<インタビュー>ホ・ジンソク/韓国体育大学校産業協力本部教授

文化を享有して楽しみ、そこで総合的1位を。私たちの心の中の1位を選び出すそれぞれの採点方式を持ってですね。

厳しい体力トレーニングの末、甘い休息が訪れました。

<インタビュー>キム・ミンジョン/柔道韓国代表

私たちに監督が夜中の運動を休むように イベント的にくださる日があるんですが、そういう時が一番幸せだと思います

時代が経った分、トレーニング文化も少し変わりました。

<インタビュー>ファン・ヒテ/柔道国家代表監督

これが人権ではなく、自分の特権であるかのようにやっているから。そして、先生たちもこれが人権なのか何なのかよく分からなかったし。今はちゃんと位置づけられていて。

<インタビュー>チョン・ジヒョン/2004 アテネ五輪レスリング金メダル

訓練量がすごかったです。本当に一日一日を耐え難いような訓練をしたんですが、冷静に考えてみると以前は50%程度、60%程度しかやっていないようです。

<インタビュー>キム・グァンソン/1988 ソウルオリンピックボクシング金メダル

まず、体力的にも劣っている体力の後の技術ですが、体力がかなり劣るので、技術が出ないのです。だからといって、下手に心配する必要はありません。

やり方が少し変わったからといって本質まで変わるわけではないからです。

女子シングルス世界ランキング1位のアン・セヨンは、「誰よりもトレーニングをたくさんすることで有名です。

<インタビュー>アン・セヨン/バドミントン国家代表

「よく走るのが私の強みだと思います。攻撃で勝つポイントがあまりないと思って、走りながら相手を疲れさせたりするのが私のバドミントンスタイルではないかと思っています。本当に大変な時間を過ごしていたと思います。それで、夜に星を見る時間さえも私には大変で、ちょっと見ていなかったんですが、夜に星よりはただ朝起きてさわやかな気持ちでいい天気を感じるのが私にもっと役に立つと思いました。

バドミントンのグランドスラムを達成したい。こういう目標を言うてからは、本当に話して夢を見るから一つずつ。一つ二つと叶えていったんです。だから今回のパリオリンピックは私にとって最後のパズルになるんじゃないかなと思います。

人にやらせるのではなく、自分がやりたくてする運動、

MZと呼ばれるこれらの選手にとって、トレーニングよりも強力な動機付けは「自分」自身です。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=8022901&ref=A>

03 オーマイニュース 2024.07.25

寄宿型サッカークラブハウス、教育庁と自治体の立場の違い、被害は学生が



慶尚南道南海郡が西面スポーツパーク内に建設中の宝島南海 FC クラブハウスについて「違法ではないか」という指摘が出ている。一部の郡民はこのような批判と疑惑を提起してきたし、6月中旬から色々な新聞と放送にまで報道された。現在、議論になっている部分は宝島南海 FC クラブハウスの

目的、すなわちクラブハウス竣工後、学生たちが常時居住するという内容と学生選手たちの偽装転入だ。南海郡は2022年8月、行政安全部から「地方消滅対応基金」98億ウォンを確保し、全額国費で宝島南海 FC クラブハウス建設事業を推進している。建物は2024年4月から工事を始め、2025年5月の完工を目標にしている（建築面積1097㎡、地下1階地上3階規模）。

宝島南海 FC のアイデンティティ

宝島南海 FC は過去南海初等学校サッカー部として始め、慶尚南道教育庁の学校運動部合宿禁止政策により2020年10月19日社団法人宝島南海スポーツクラブに転換・設立された。また、文化体育観光部が認証した指定スポーツクラブであり、非営利法人として登録された団体でもある。

宝島南海 FC クラブハウスは学生選手たちが寄宿しながら各学校に通学し、サッカー訓練をしながら休息するなど生活空間として活用する計画だ。現在、宝島南海 FC は小学生の場合、南海小学校、中学生は二東中学校、高校生は昌善高校に学籍を置いている。

教育庁、学校体育振興法は妥当か

慶尚南道教育庁は高校生を除いても小・中学生は合宿に反対すると主張し、学生選手が両親(保護者・親権者)と共に転入・居住して生活しなければならないが、これを守らなければ偽装転入と学区違反など違法の素地があると解釈した。

根拠としては「学校体育振興法」をあげた。「学校体育振興法」第11条4項には「学校の長は学生選手の学習権保障および身体的・情緒的発達のために学期中の常時合宿訓練が根絶されるよう努力しなければならない。ただし、競技大会参加などのためにやむをえず合宿訓練を実施する場合には学生選手の安全および人権保護のために必要な措置をしなければならない」と明示されている。

なお、11条5項には「学校の長は遠距離から通学する学生選手のために寮を運営することができる。この場合、必要な事項は教育部令で定める」となっている。

しかし「学校体育振興法」内容の中で「合宿訓練が根絶されるよう努力しなければならない」という言葉は厳然と問い詰めてみれば強制意味が抜けており、これはすなわち責任所在に対する部分も不明でありうるので基準が曖昧な文章だ。

南海軍の立場

22日、南海郡文化体育課の関係者は〈南海時代〉に「宝島南海FCクラブハウスは『学校体育振興法』ではなく『スポーツクラブ法』を基準に運営されており、これを根拠に公募事業に選定され建設している」と説明した。

「スポーツクラブ法」第10条5項は次の通りである。「指定スポーツクラブは第6条により登録した地方自治体に住所を置いていない人が会員選手として活動できるよう支援するために寮を運営することができる。この場合、必要な事項は文化体育観光部令で定める。」

すなわち、教育庁と南海郡の両機関が根拠とする法が異なる状況だ。

宝島南海FCの関係者は「このような議論が発生して残念だ。学生たちと保護者をはじめ外地にいる方々も連絡が来てこの状況について問い合わせる」とし、「早急にこの問題が解決され学生と保護者など多くの方々の不安感を解消させることができることを願う」と話した。

現在も、最悪の状況でも被害は結局学生が

宝島南海FCクラブハウスが計画通り来年中旬に竣工すれば、約180人の学生が寄宿する予定だ。

現状で一方の法の側に立って違法だと断定することはできないので、法と制度の改善に方向を合わせなければならない。また、偽装転入を批判する根拠に対しても、都市と農漁村間の差があり、基準も曖昧なので改善されなければならない。これは南海郡と教育庁、国会議員、体育会、サッカー協会など官民が同意しなければならない。

本質的な問題は、この論議によって学生と保護者、そして外地から南海への転入を希望する人々に不安感を抱かせるという点だ。現在もそうだが、最悪の状況が起きれば被害を受けるのは結局子供たちだ。

出典：

https://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0003048913&CMPT_CD=P0010&utm_source=naver&utm_medium=newsearch&utm_campaign=naver_news

あなたは憶えていますか？



先月 26 日は故崔スクヒョン選手が亡くなって 4 周忌になる日だ。最高の鉄人を夢見てきた崔選手の痛みと体育界の問題について先を争って報道していたマスコミも、今年は記事が見つからないほど静かだ。

崔選手に対する関心はますます薄れているが、彼女が生まれ育った慶尚北道漆谷郡でだけは、追悼の熱気が熱かった。地域のあちこちには崔選手を追慕する垂れ幕が掲げられ、SNS にも書き込みが掲載された。

特に、漆谷国民体育センターの金ヨンオクセンター長が SNS に掲載した書き込みには、多くの漆谷郡民がコメントをつけ、崔選手の冥福を祈り、残念な気持ちを示した。コメントには「私たちのきれいな娘さんがそのように去り、歳月が無心に流れた。正々堂々とした体育社会になることを心から願う」「いつも忘れず哀悼し再発防止対策が切実だ」として追慕と共に体育界を心配する文もついた。

崔選手が極端な選択をする直前、「ママ、愛してる。彼らの罪を明らかにして」という文字メッセージは今でも国民全員に大きな衝撃と怒りとして残っている。

検察、警察、大韓体育会など 7 ヶ所の機関に自分の境遇をそのように切なく訴えたが、どこにも出るどころがなかった。崔選手の死後 3 年間、加害当事者である運動処方士と監督、先輩選手はそれぞれ懲役 8 年、7 年、4 年の重刑を宣告され、体育界人権改善のための崔スクヒョン法とスポーツ倫理センターが制定、設置された。

厳しい処罰と法・制度が確立され、体育界の弱者に対する保護と救済が改善されるように見えた。しかし、崔選手の死後も実業選手 7 人のうち 1 人が暴力を経験していることが分かった。学校運動部の指導者不正類型の計 198 件のうち、最も多い 51 件 (26%) が選手暴力事件だった。暴行、性的暴行、馴らし、学習権侵害など、主に選手に対する人権侵害問題は、崔選手の死亡後も慢性的な体育界の問題として依然として残っている。

去年は、全羅南道光州のある高校運動部のコーチ A 氏が、教え子への暴行に続き、彼の母親にセクハラをした容疑で罰金刑を言い渡された。A 氏は運動部の選手として活動していた B 学生を靴下が汚いか友達といたずらをしたなどの理由で何度も暴行した。A 氏は、保護者らと食事をしている途中、B 生徒の母親を別途に呼び出した後、腰を 2 回触るなど、わいせつ行為をした容疑も受けている。

崔選手のことを忘れているからだろうか。A 氏と類似した事件が続いている。国民皆がその日の辛い記憶を忘れてはならない。私たちの記憶の中で忘れられたら、また別の大切な息子と娘たちが第 2 の崔選手になってしまう。

出典：<https://www.yeongnam.com/web/view.php?key=20240728010003809>



記者たちは毎日「労働」ニュースだけを伝えなければならない悲劇を体験しているというが、実は社会運動活動家も大きく違わない。スポーツで「毎日遊ぶ」話をする前に、少しは悲しく、少しは絶望的な話から始めようと思う。

「その人たちの罪を明らかにして」

2020年、鉄人3種競技の崔スクヒョン選手が監督・チームドクター・先輩選手の暴力で世を去って残した言葉だ。体育界では英雄神話に隠された反人権的な事件が繰り返された。2018年から趙ジェボム元ショートトラック国家代表コーチの性暴力事件をはじめ、多様なスポーツミートゥーが続いた。国家人権委員会スポーツ人権特別調査団が発足し、体育分野の構造的革新のための民官合同機構スポーツ革新委員会も発足した。

所定の成果はあったが、体育界は簡単には変わらなかった。大韓体育会と競技団体を中心に組まれた閉鎖的な体育界は、思った以上に強固だった。立派な運動選手になるためには暴力に耐えなければならないという考えに同調する人も少なくなかった。最近のサッカーアカデミースポーツ暴力事態でも、何人かのネチズンは似たような論理で加害者を擁護したりした。より多くの暴力と死を防ぐために革新を叫ぶ人々が孤立しないように、体育界を越えて市民の積極的な支持と社会運動が必要だった。

私が所属している文化連帯代案体育会では、このような背景で2021年からスポーツ市民運動を組織することにした。暴露と制度改革を越え、スポーツ現場および市民社会のあちこちでパラダイムを転換し、同僚をさらに多く作る必要があった。その時から英雄叙事を越えてスポーツを巡る多様な主体の話を盛り込んだウェブジン「動く」発行、体育界市民団体を越えて多様な市民および社会運動団体が共にできるネットワーク「みんなの運動会組織委員会」を組織、誰もが差別されずに共にするスポーツのための「みんなの運動会」行事を進行した。大学清掃労働者スポーツ圏のためのプロジェクト「ホホ体育館」も同じ問題意識の下で出発した事業だ。

スポーツ市民運動ネットワーク初動会

「みんなのスポーツ」の下絵を描く

スポーツは多くの人々の胸を躍らせるが、誰かはここから排除されている。障害者、クィア（訳注：性的マイノリティ）、そして非人間主体など「皆のスポーツ」を実践するためにクィア女性ネットワーク・緑色連合・体育市民連帯・民弁・全国体育教師会・ウィミットアップスポーツ・障害者運動活動家など多様な団体と個人が集まった。

私たちが望む通りに「みんな」の運動会ができるだろうか？年齢・性別・障害と関係なく。環境に全く害を及ぼさない行事を作ることができるだろうか？いっそ何もしない方がいいかもしれない。参考にする事例も多くなかった。その間、私たちは悟った。私たちに必要なのはもっともらしい答えではなく、「皆と一緒に享受するスポーツ」が可能にする最小限の条件を用意し、最大限の条件を想像することだということ。

その第一歩の一環として、みんなの運動会ガイドブックを一緒に作った。「みんなの運動会のための宣言」から始め、環境を搾取しない、女性を差別しない、障害を差別しない、「LGBTAIQ」を差別しない運動会のための方法に対する悩みを盛り込んだ。

体を動かして心を合わせる

スポーツの本質に注目する

誰も疎外されたり排除されずに参加できる運動会を作るために、私たちは既存のスポーツ種目を修正するよりは遊びと運動の観点で再び接近した。競争ではなく「体を使うこと」という本質に焦点を合わせた。普段、住民たちと演劇基盤の遊びプログラムを進めながら多様な運動会を進めてきた協同組合村オン芸術の企画者ノディがプログラム企画に大きな寄与をした。多様な年齢帯の参加者と身体活動を進行してみた経験を反映し、体力と専門性の差を越えて皆が楽しめるプログラムとして企画した。

“もともと遊びやスポーツは優勝という明確な目的があるじゃないですか。善意の競争だとしても勝利に対する欲求が生じるものです。ただ『みんなの運動会』は、運動ということ自体がどこから始まったのか、その意味を大切にもう一度振り返って、これを盛り込もうとしています”

「みんなの運動会」を企画したノディの言葉に従い、私たちは「みんな宣言」で始め、多様なグループ活動とチームミッションオリンピックでプログラムを構成した。赤チーム・青チーム・緑チームに分け、個人間の競争よりチーム間の協同を中心とした遊びを配置した。プログラムの最後、みんなのための授賞式では順位をつけるより、良いエネルギーを分けてくれた参加者に感謝の気持ちを表現することに目的を置いた。ある参加者は、「普段、運動が苦手でやりたくなかったが、みんなの運動会で『上手・下手』が重要ではないことに気づいた」と話した。

社会運動をしていると、たまに救急室で働く医師になった気分になったりする。社会のあちこちで悲劇的な事件は引き続き起こるが、手は足りず、活動家たちは本質的な問題を簡単に解決できず、さらに急激な事件に移さなければならない。しかし、韓国社会の健康のためには、家庭医学のような社会運動も必要だ。みんなの運動会がスポーツ人権運動でそのような役割を果たせると思う。代案的で民主的なスポーツを体で経験し、同僚と力を合わせて汗を流したことがある人なら、彼が人権の側に立つと私たちは信じている。それが韓国文化連帯代案体育会が「運動 (exercise)」を通じて「運動 (movement)」する理由だ。

出典：<https://www.labortoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=222848>

06 週間スポーツニュース

スポーツ倫理センター、懲戒事実の有無確認書利用者 2 万人突破

<https://mydaily.co.kr/page/view/2024072908433341015>

スポーツ倫理センター、スポーツガバナンス公正性強化フォーラム開催

<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=8017831&ref=A>

慶北道障害者体育会 2024 年スポーツ指導安全管理教育開催

<https://www.dkilbo.com/news/articleView.html?idxno=453542>

自国女性選手への着用を禁止したフランスに怒った国際人権団体

<https://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20240725010016366>

サウジで「e スポーツオリンピック」が開かれる…「スポーツウォッシング」批判も

<https://www.ekoreanews.co.kr/news/articleView.html?idxno=74601>

オリンピックの英雄「フー」-「卓球伝説」ヒョン・ジョンファ、クリーンなスポーツ生態系のために走る

https://mbnmoney.mbn.co.kr/news/view?news_no=MM1005295363

ヤジが放たれたサッカー、顔には「レーザー攻撃」…イスラエル五輪代表団の首謀者

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2024072511321953495>

公正なオリンピックという夢

<https://www.mk.co.kr/news/contributors/11078049>

野球場は選手たちの遊び場…積極的な「コミュニケーション」→子供たちに楽しさを与える

<https://mydaily.co.kr/page/view/2024072119423068959>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>